

情報公開文書

研究の名称	父親の育児行動と子どもの受傷との関連（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加する児および参加に同意した保護者</p> <p>【研究の目的・意義】 世界では毎年 84 万人以上の子どもたちが傷害によって死亡しており、日本でも乳幼児の不慮の事故による死因順位は常に上位に位置しています。傷害には転倒・転落、窒息、溺水、熱傷等があり、その受傷度によって救急搬送を伴う場合もあり、養育者にとっては予期せぬ事態であることも多いのが現状です。</p> <p>厚生労働省による 21 世紀出生児縦断調査では、父親の育児行動の頻度が高いと 1 歳 6 か月時点の児の受傷が減るという関連が示されています。また、父親は事故防止の情報を入手したり、子どもの行動を予測して目を離さないなど子どもの事故防止に向けた対策をとることで受傷が減る可能性が示唆されています。そこで、本研究ではエコチル調査のデータを用いてこの関連が再検証されるか、父親の育児行動と 2～3 歳、3～4 歳の 2 時点の受傷との関連を検討します。</p> <p>【研究の方法】 エコチル調査に既に登録された対象者について検討します。エコチル調査では 6 か月時に父親の育児状況（食事の世話、おむつ交換、入浴の世話、寝かしつけ、室内遊びをする、外で遊ぶ、更衣）を、また 3 歳時、4 歳時に過去 1 年以内の受傷（転落、熱傷、外傷、骨折）の状況を尋ねる質問票を送り、保護者から回答を得ています。この質問票ではその他に生活習慣や社会経済的要因など多数の情報も取得済みです。本研究では、すでに取得済みのデータセットを用いて解析を行い、追加の情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報には削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>質問票より得られた 6 か月時における父親の育児状況（食事の世話、おむつ交換、入浴の世話、寝かしつけ、室内遊びをする、外で遊ぶ、更衣）、3 歳時・4 歳時から過去 1 年以内の受傷（転落、熱傷、外傷、骨折）の状況、子の性別、在胎週数、上のきょうだいの有無、祖父母の同居、母親の年齢、父親の何例、世帯収入などの情報を用い、多変量解析を行います。また、他機関への情報提供はありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国立大学法人富山大学 学長 齊藤 滋
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を</p>

	開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-415-8846 FAX:076-415-8843 E-MAIL shima8@med.u-toyama.ac.jp 富山大学医学部内 エコチル調査富山ユニットセンター 島田佳奈子・リサーチコーディネーター